



元銀行員の田中です。

民生委員の



田中です。

銀行員の田中でした。

助ける田中。

今日は、子ども食堂に参加しました。

子どもは少し苦手だったので緊張しながら学校へ行きました。
すると…そこには、前日夜勤だったのでしょうか、ひどく疲れた様子のお母さんと、小学校三年生の女の子が。お母さんは子どもが何をしても叱るばかり。
そこで私は、子どもがテーブルをふいたり、お手伝いをしているのを見て、たくさん褒めました。すると、お母さんも子どものいいところ気づき、笑顔になっていきました。しんどいこともあるけど、頑張ろうと思います。

子ども食堂
無料または格安で、子ども達に食事を提供する事業



民生委員の田中です。

退職後、生きがいを失った私は、民生委員の活動を通して、「自分も地域の人に役立てるんだ!」と感じました。今では、みんなの笑顔を見ることが私の喜びです。

児童だけではなく、高齢者、障がい者など、色んな生きづらさを持つ人のために働くのは大変ですが、その自分も成長でき、やりがいを感じられます。

さあ、あなたも

民生委員に!

初めての活動は見守り訪問でした

その日は三〇二号室のおじいちゃんの訪問でした。訪問するや否や、むすっとした態度、それでもめげず、なお話を続け、最後に仲良くなればと思いい折り鶴をプレゼントし、家を後にしました。

一カ月後、三〇二号室を訪れると、玄関にはあの時の折り鶴が…

内心緊張していましたが、そんな私に一言。

「また来てくれてありがとう。あの時の折り鶴、大事に飾ってるよ。」

見守り活動

主に一人暮らしの高齢者のお宅に訪問する活動

タナカ(55)

民生委員とは…
地域住民にとって「顔の見える」最も身近な支援者

私は去年銀行員を早期退職しました。それまでは仕事一筋だった私が定年してから、もっぱら家でダラダラ。妻は口をきいてくれず、犬のタロウにもそっぽを向かれ…

そんな時お隣に住む民生委員のタミオさんのお話を思い出しました。彼女は民生委員を始めて、生きがいとは何かを見つけたのです。福祉の「ふ」の字も知らない私でしたが

「やってみよう!」 そう思ったのです。

「生きがい」 ってなんででしょうか。



詳しく知りたい方は、こちらまで
<http://www.pref.osaka.lg.jp/chiikifukushi/minsei/>

※これらの登場する人物、ストーリーは架空のものです。